

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 支援 - 19

学校名・団体名	西郷村立川谷小学校
HPアドレス	http://www.nishigo.gr.fks.ed.jp/?page_id=71
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	阿武隈川がつなぐ友情 荒浜小との交流・体験活動
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ol style="list-style-type: none">1 荒浜小学校児童との交流活動を通して、相手を思いやる心情を高める。2 集団での宿泊活動を通して、集団行動のきまりを守り、主体的に協力しながら活動する態度を身につけさせる。3 海岸沿いの地域の見学を通して見聞を広めるとともに、自分たちの住む地域のよさを見つめ直し、郷土を愛する心情を高める。	

1 交流活動の実施日と場所

平成29年9月21日（木）出会いの式 (荒浜小学校)

海ライフジャケット着用体験 (荒浜小学校)

海沿いの地域見学 (荒浜町内)

海沿いでの体験活動（漁船乗船体験） (荒浜漁港)

平成28年9月21日（水）交流会

荒浜地域郷土料理づくり

交流レク 別れの式 (荒浜小学校)

2 交流活動の様子

「荒浜小学校訪問」による交流活動は、今年度も1泊2日で実施し、充実した活動にすることができた。昨年度できなかった漁船乗船体験を行った。事前にライフジャケットを着用して、大型漁船に乗り込んだ。港を沖へ進んでいくと、太平洋の大海原が目の前に見えてきて、児童は大きな歓声をあげ、潮風を体いっぱいを感じ取っていた。漁船に初めて乗った子が多く、貴重な体験をすることができた。また、恒例のはらこ飯作りも行い、普段経験できない海沿いの地域ならではの体験活動に生き生きと取り組んでいる子どもたちの姿がとても印象的だった。また、バスで移動しながら、海沿いの地域の様子を見学したり、荒浜小学校の屋上から阿武隈川の河口を見学し、改めて自分たちの地域との違いについて気づくことができた。

さらに、全校児童29名で行った集団宿泊学習は、異学年活動を重視する本校の教育活動によって大変有意義な学習の場となった。

ライフジャケット着用体験
荒浜小での交流1日目



漁船乗船の前に全員がライフジャケットを着用した。防災教育の一貫として安全用具を備えることの大切さを学んだ。

漁船乗船体験
荒浜小での交流1日目



漁船に乗船し、沖まで出かけた、途中で海猫にえさをやる体験もすることができた。初めての児童が多く貴重な体験ができた。

郷土料理作り体験
荒浜小での交流2日目



大きな「さけ」が目の前でさばかれていく様子にびっくり。自分たちで作った「はらこ飯」のおいしさに大満足だった。

なかよし交流
荒浜小での交流2日目



荒浜小学校で用意していただいたレクレーションわ通して、絆を深め、来年の再開を約束した。

3 交流活動の感想

〈児童〉

- ・ あらはま小の子といっしょに作った「はらこめし」、いっしょにあそんだドッジビー（交流活動）がとてもたのしかったです。また行きたいです。
- ・ はじめてぎょ船にのりました。のる時、船とのる場しよにすき間が空いていてこわかったです。船で海に行って、海ねこにパンをやったのが楽しかったです。海ねこがかわいかったです。
- ・ 漁船に乗ったことが一番心に残っている。また、荒浜小の友達と遊んだり、はらこ飯を作ったりすることができて、とても楽しかった。
- ・ 漁船に乗ったり、はらこ飯を作ったりなどの大切な体験をさせてもらってとても勉強になった。充実した二日間を過ごすことができた。

〈教員〉

- ・ 1年生にとって初めての荒浜小。縦割り班の上級生にめんどうをみてもらい、とても楽しい二日間を過ごすことができた。
- ・ 今年度も一泊二日の活動でしたので、漁船則、はらこ飯作り、荒浜小の児童達とのゲーム等と充実した時間を過ごすことができた。
- ・ 同じ阿武隈川沿いにありながら上流と下流で全く異なる環境を直ぐに見たり、体験したりすることができたのでとてもよい学習になった。
- ・ 他校への訪問を通しての交流はもちろん、本校全員での活動・宿泊は子ども達の心身の成長にとってもよい訪問だった。

〈保護者〉

- ・ 泊まりがけで一度にたくさんの経験することができたようで、帰ってから旅行の様子を楽しそうに話してくれるなど、充実した活動になったようだった。
- ・ なかなか体験できないことを聞いてきたり教わったりして、荒浜小学校の児童とお互いの気持ちを理解しあえる心を持たせる事ができたと思われる。
- ・ 山間の学校では、体験できないようなことをたくさん経験できたことは、たいへん良かったと思う。ぜひ、今後も発展させてほしいと考える。

4 交流活動の成果

- ・ 阿武隈川源流近くで生活する本校の児童が、阿武隈川河口に位置する荒浜小学校を訪問することで、生活環境が異なることに気づかせ、さまざまな活動を通して児童相互の交流を深めることができた。
- ・ 荒浜小学校や海沿いでの貴重な体験活動を通して、地形・産業・食文化等の多様な視点から海沿いの地域の特色やそこでの生活を捉えさせることで、自分たちの住む地域との違いや、それぞれの地域の良さについて感じ取らせることができた。
- ・ 全校生での宿泊活動を通して、異学年による協働・助け合いの精神をまなばせるとともに、集団行動のきまりを守り、主体的に協力しながら活動する態度を育てることができた。